

末梢動脈疾患 (PAD) という病名をご存知でしょうか？ 手足、主に下肢 (足) の動脈で起こる、粥状物や動脈炎によって生ずる血流障害です。現在は動脈炎による PAD (バージャー病) の患者は減少し、粥状物による血流障害 (下肢閉塞性動脈硬化症) が増えてきました。動脈が硬く、細くなって血行が遮断される病態を閉塞性動脈硬化症といいます。手足の動脈硬化の症状には、痺れや冷感、筋肉の痛み、足の痛みなどがあり、血流障害が傷が治らない原因にもなります。



重症 PAD の主な症状

- ▼ふくらはぎの筋肉の萎縮
- ▼足や趾の脱毛
- ▼皮膚が乾燥する
- ▼足に痛みの強い潰瘍があり、出血しない、黒い、治りにくいなどの兆候がある

自宅でのケア

医師に診てもらわずに自己判断で治療をすることは、潰瘍の重症化につながる可能性がありますので、おすすめできません。病院を受診して専門医に診てもらい、その指示に従うのが最善でしょう。

末梢動脈疾患 (PAD) のリスク要因

PAD がある人で、実際に症状を感じる人はわずか半数です。その為リスク要因のある人は検査を受けることが重要となります。

リスク要因には以下のようなものがあります。

- ▼年齢 65 歳以上
- ▼喫煙している、または喫煙歴がある
- ▼糖尿病患者
- ▼高血圧
- ▼高コレステロール
- ▼透析
- ▼本人もしくは家族に PAD、心疾患、心臓発作、心筋梗塞の既往がある
- ▼運動量が少ない

PAD には症状のある時と無い時があり、見逃して進行することもある。間欠性跛行 (かんけつせいはこう) とは、歩くと足が痛み休むと痛みが治まることをいい、これは動脈が詰まって足に十分な血行が行かないために起こります。PAD 患者の 1/3 から半分の方に起こる症状です。しかし、動脈硬化が重症になると、組織に十分な血行が休んでも足の痛みがおさまらないことがあります。これは重度の虚血による安静時疼痛 (あんせいじとうつう) と呼ばれ、潰瘍や壊疽の危険を伴い、重症になると切断が必要となることもあります。

予防方法

- ▼禁煙
- ▼コレステロール値のコントロール
- ▼糖尿病のコントロール
- ▼定期的な運動



治療方法

創傷のデブリードメント

初期の場合は、壊疽組織のデブリードメントを行います。これにより創傷が悪化する可能性がありますと判断された場合は行いません。感染が見られた場合には培養を行い、抗生剤を処方します。

血流の評価

血流が不十分である場合にデブリードメントを施行すると、悪化する恐れがあります。創部を治すためには十分な血流が必要です。まずは血行再建を施行し、創部の血流を改善させます。

重度の場合には手術をおすすめしております。感染を防ぎ湿潤環境を保ち、創傷治癒を促進する塗り薬を使用したり、培養の感受性にもとづいて抗生剤を処方することもあります。創傷の原因の一つが圧によるものと判断された場合は、除圧のために装具を処方する場合があります。



完治後の写真

